

プラレールチェーン SP15、20、25、35シリーズ取扱説明書

この度は、当社のプラレールチェーンSP15、20、25、35シリーズをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の正しい使い方をご理解いただく為に、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みくださいますようお願いいたします。

⚠ 注意

- 組立て、分解作業を行う際にはケガをしないよう十分な装備をして行ってください。
- プラレールチェーンは走行いたしますので、組立てについては説明書を良く読んでご理解いただいた上で行いませんと作動中の分解を引き起こしますので十分に注意してください。
- キャップの取付け、取外しの際、マイナスドライバーの作業時に手をケガをしないようご注意ください。

1. 納入状態

1：プラレールチェーン本体と取付金具は、別売りです。取付け用金具は、別途ご注文ください。

プラレールチェーン本体

構成

- ・本体（×リンク数）
- ・フラップ（×リンク数）
- ・Rキャップ左右（×リンク数）



移動端用取付金具

構成

- ・移動端用取付金具左右



固定端用取付金具

構成

- ・固定端用取付金具左右
- ・エンドキャップ左右



仕切板

構成

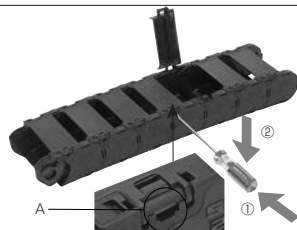
- ・仕切板（×注文数）



2. フラップ開閉

1：図1のように側面のA部へマイナスドライバーを差し込み、押し上げて開け、フラップを上から押さえれば閉じます。（左右両側面共通開閉）

図 1



注) マイナスドライバー先端の幅。

- ・SP1520 幅 2.5 mm
- ・SP2035 幅 2.5 mm
- ・SP2585 幅 3.0 mm
- ・SP2550 幅 3.0 mm
- ・SP3580 幅 4.0 mm
- ・SP35105 幅 4.0 mm

2：フラップは（45°）位に起こして、起こした側へ引っ張ると、取り外すこともできます。（左右両側面共通）

3. 取付金具セット方法

1：移動端用取付金具

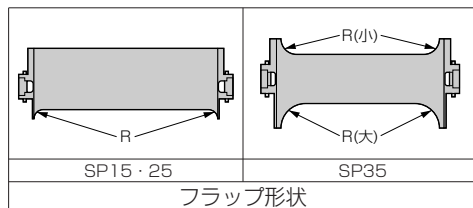
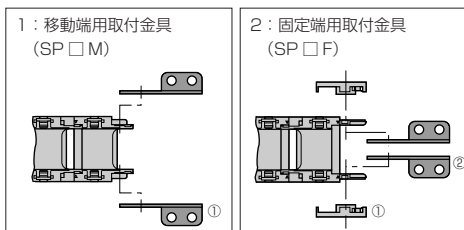
①Rキャップ側の本体ボスに取付金具の穴を合わせて取り付ける。

2：固定端用取付金具

①固定端用取付金具（SP □ F）に付属しているエンドキャップをRキャップの装着されていない本体にはめ込む。（左右両側共）

②本体へ装着したエンドキャップボスに取付金具の穴を合わせて取り付ける。（キャップの取外し、取付けにつきましては、「キャップ取付け、取外し」の項を必ずご参照ください。）

※. プラレールチェーン本体には、工場出荷時よりエンドキャップは、外してあります。

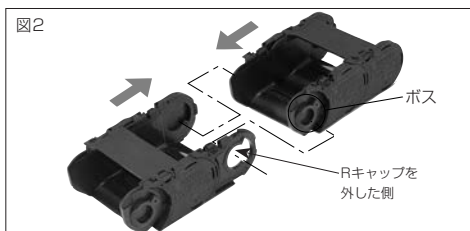


4. リンクの増減方法

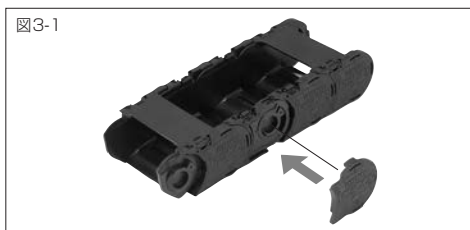
お客様に納品されたリンク数以外でご使用になる場合は、下記の注意事項をご確認の上、連結又は、切り離し作業を行ってください。

1: リンクの増やし方

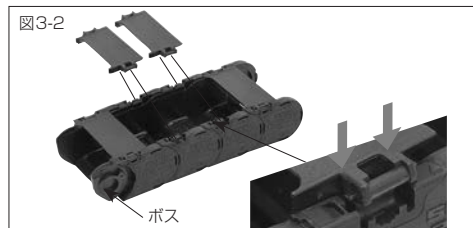
- ①連結しようとするリンク同士のフラップを外す。
- ②連結される側の本体片側のRキャップを外す。(キャップ取付け、取外し項をご参照ください。)
- ③Rキャップを外した側から連結しようとする本体のキャップボスをはめ込み、その後図2のように全体を押し込む。



- ④ボスと穴が確実に連結されていることを確認後、外しておいた片側のRキャップを図3-1のように本体溝形状に合わせて固定用ツメが3ヶ所共本体に完全にかみ合うまで押し込みます。

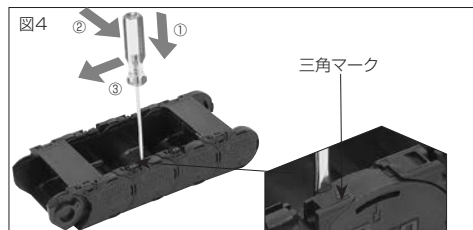


- ⑤SP15、20、25用フラップは、本体ボス方向にR形状が向くように、SP35用フラップは、R形状の大きい方が本体ボス方向に向くよう、本体ツメにフラップピンが完全にかみ合うまで押し込み、図3-2のように組み付けてください。



1: リンクの減らし方

- ①切り離すリンク同士のフラップを外し、図4のように三角マーク位置のリンク隙間にマイナスドライバーを差し込み矢印の方向に倒しながら本体をずらすと片側が外れますので、その後全体を抜き取ってください。(切り離す場合は、Rキャップを外す必要はありません。)



5. キャップ取付け、取外し

Rキャップとエンドキャップを取付け、外す場合は、図5-1の3ヶ所所有のB溝へマイナスドライバーを差し込み、キャップ固定用ツメを図5-2のように親指でツメの外縁面を押さえながら図5-3の順番で本体より起こし、キャップを本体から抜き取って外してください。

注) 固定用ツメを起こさずにキャップを外すと、破壊します。



図5-2

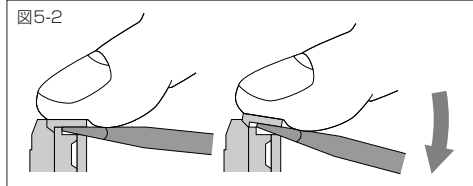
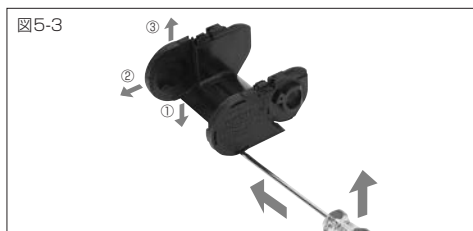


図5-3



6. 仕切板の取付け

1: 仕切板を取付ける方法には、図6-1のように側面文字 (L) を本体仕切板用溝に向け押し込み所定位置にて固定する方法と、図6-2のように側面文字 (F) を溝に向け押し込む任意位置スライド可能な方法の2種類選択できますので、使用状況により使い分けてください。

図6-1



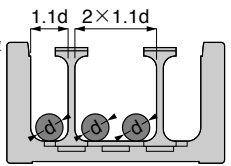
図6-2



2: 仕切板は、図7-1にあるように、ケーブル・ホース径 (d) の1.1倍以上の間隔で取り付けてください。固定用取付け方法にて組み付けた場合の仕切板間のピッチは、SP25については11 mm、SP35については13 mmとなります。

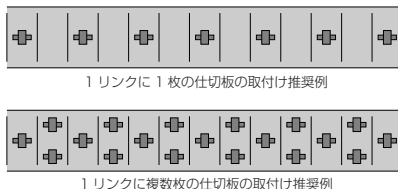
図7-1

1 リンクに取付け可能な仕切板の枚数
 ・ SP1520- 設定無し
 ・ SP2550- 3 枚
 ・ SP2585- 5 枚
 ・ SP3580- 5 枚
 ・ SP35105- 7 枚




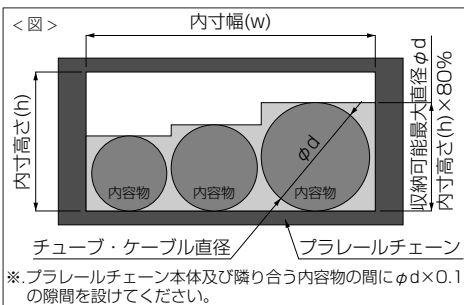
3: 仕切板は、図7-2にあるように、1リンクおきに取り付けることをお勧めします。又、1リンク当たり複数の仕切を必要とされる場合は、できる限り仕切同士が隣り合わせにならないようにしてください。

図7-2



7. ホース・ケーブルの収納及び取付けに於ける注意事項

- チューブ (ホース・ケーブル) の収納量は、ブラレールチェーンの内容量 = 内寸高さ (h) × 内寸幅 (w) の70%以内に納まるようにしてください。
(下図の  部を参照ください。)
- チューブ (ホース・ケーブル) の直径がブラレールチェーンの内寸高さ (h) に対して80%以内に納まるタイプを選定してください。
(下図を参照ください。)
- 内容の違う物 (エアチューブ・水チューブ・導線等) を一緒に収納する場合は、収納する物の中で屈曲半径が最大の物に合わせ、ブラレールチェーンの屈曲半径を選択してください。
- 仕切板を取付ける事により内容物の配列がそのまま維持されます。摩耗、削れ等に対して大変有効です。
- チューブ (ホース・ケーブル) は、できるだけ水平に並べて交差しないよう、ブラレールチェーンに収納してください。
- チューブ (ホース・ケーブル) は、左右バランス良く配列し、収納してください。
- 内容物は上下左右バランス良く配列し、特に直径の違う物の場合は、内容物同士が互いに乗り上げ交差しない直径の配列にしてください。
- 内容物に引張りや負荷が掛からないようにする為、ブラレールチェーンの両端部で内容物をしっかり固定してください。



⚠ プラレールチェーン SP15、20、25、35シリーズの注意事項

⚠ 警告

1. プラレールチェーンの上には、絶対に乗らないでください。破損して落下する危険性があります。
2. プラレールチェーンの連結、切り離し、開閉、保守点検等の際は、プラレールチェーンが動かないようにしてください。自重により自走したり、倒れたりして負傷する危険性があります。
3. プラレールチェーンの屈曲部にご注意ください。屈曲部で手を挟んだりして負傷する危険性があります。
4. プラレールチェーンの保守点検の際には、必ず装置の電源を切り安全対策を施してください。
5. 各タイプ毎に記載されている仕様、条件以外では使用しないでください。
6. 製品の基本構造や性能、機能に関わる分解、改造は行わないでください。
7. 取付金具は、緩まないよう確実に締め付けてください。緩みが生じるとシステム全体の破損の原因となる危険性があります。
8. 取付金具には、無理な負荷を掛けないようにしてください。負荷によりプラレールチェーンが外れ、負傷又は、システム全体の破損の原因となる危険性があります。

⚠ 注意

1. 本文中の「7. ホース・ケーブルの取付け」をよく読んでご使用ください。
2. 収納するケーブル、ホース類は屈曲性、耐摩耗性に優れた運動用のものをご使用ください。又、ワイヤブレード外装のものは、傷みやすいことがありますので使用しないでください。
3. 特別な環境下でご使用の際は、お問い合わせください。

製造元／株式会社**日本ピスコ**

本 社 工 場 ／長野県岡谷市長地出早3-9-32 〒394-0089 TEL:0266(28)6072(代) FAX:0266(28)7349

販売元／株式会社**ピスコ販売**

本 社 ・ 営 業 部 ／長野県上伊那郡南箕輪村3884-1 〒399-4586 TEL:0265(76)2511(代) FAX:0265(76)2851